宇津保物語

二十三

4239

830
30
107

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

宇津保物語

國讓上の二止

忠幸 中巻

廿三

今板本十八の巻二

古本十九の巻

830
帝國
107

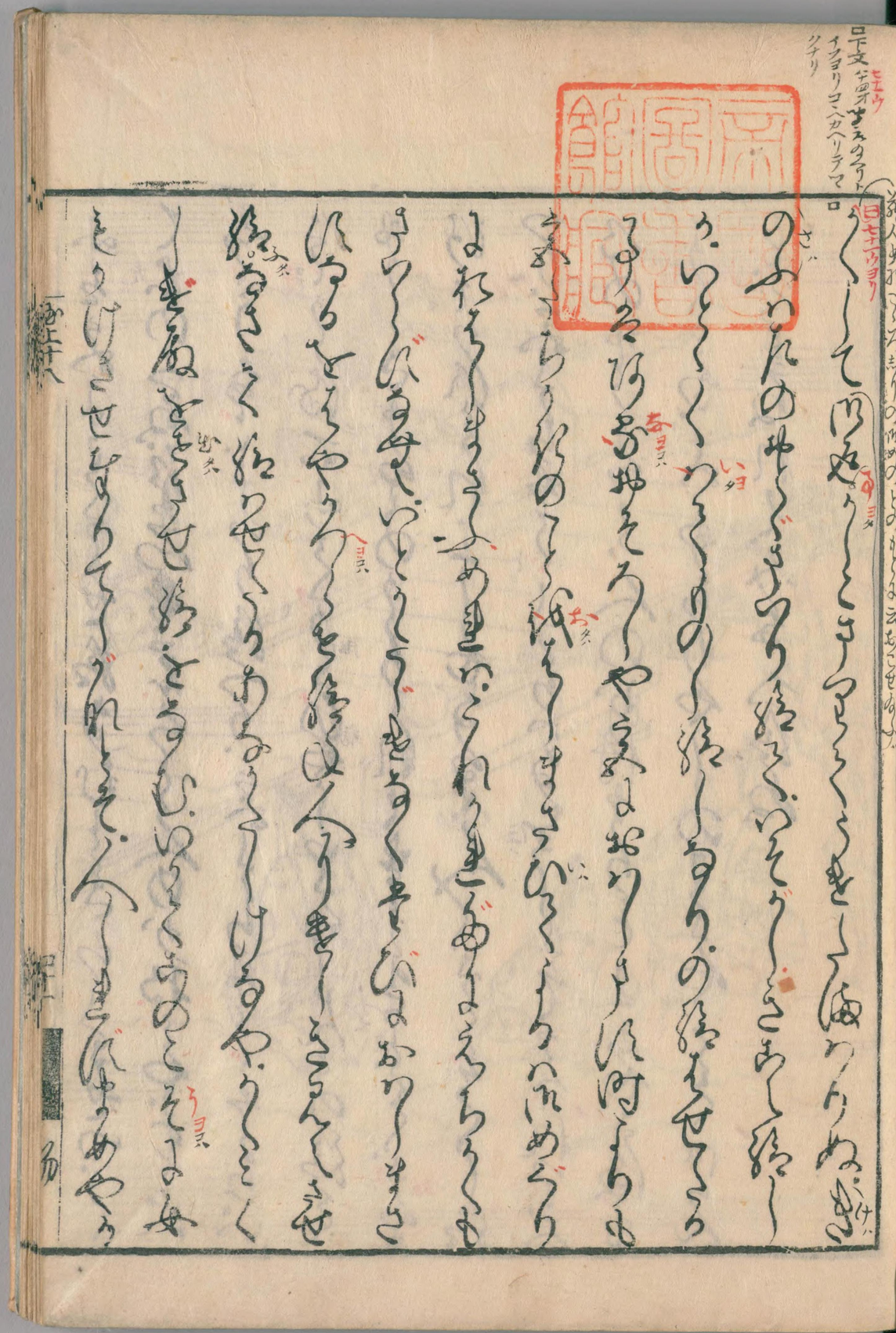
28. 8. 4

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

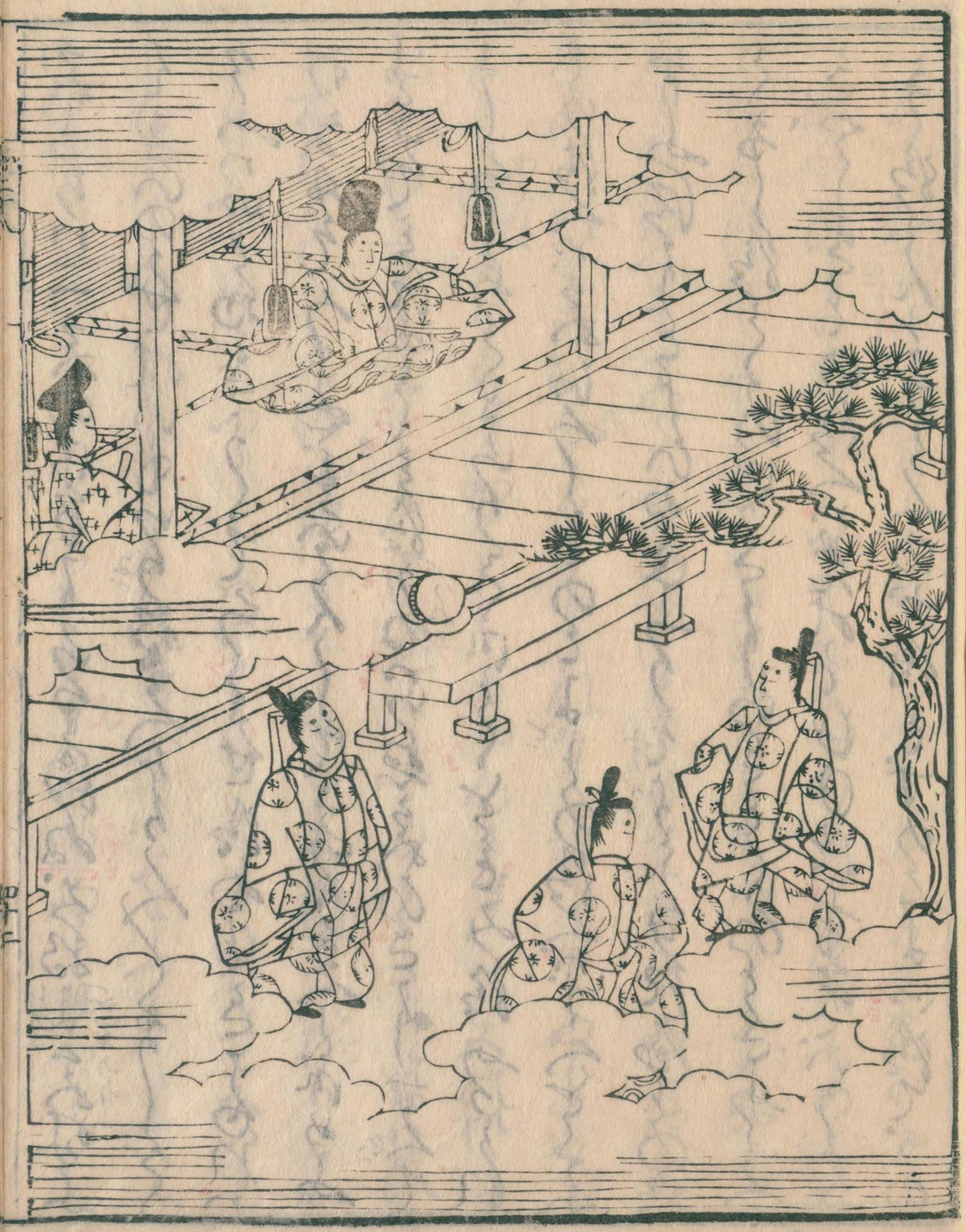
ガラス使用

宇津保 中三

大正
4.7.20
購求



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107
ガラス使用



みたまふよりとうせ給ふむしとうせつうく
てたのうあ九ぶ生まつ生えうとうのかねうやむとれ
ぶうるぶいうりうり給つり。えうとうはやぐうらい
うとうあ脇病ぶやうとうんとの給うく
ゆうしうさゆうのううれうとうぼうくうまう
ひうそうびうれうしうせうるぶんくううぐうく給
つり。えうとうはうぐしうとういうるうほううてゆうれつえ
ねのはうぐうう。人のか將ゆううとうあうさ海ゆ
うくうう。えうあうらゆやしうのうとうやうとうぐうん
ぐ。ううるねれうみるうん給ぬ

□此間上文廿三ウ一行ヨリ廿三オ九行ニテ廿行コミ入ル(ヘ)

□ミモフ六ハテ、身ノ汗ヨレハテ、ミくヽヨヒテヒハ驚ノ意ニテオハレヨ身モヒエルヤウニ我身ニモアラヌヤウニオモエルナリ

なんとうい二えのはるうりいるを給ぬ。さるよりあるよりあるよりあるよりあるよのなかのうせていもりはるうるうるう

明云ト共モノキテフシ元サマノフクラカルヨイヘリ
由梅此説非御髪ノフクタメラレタルヘオキトノモノトテフクタメラレタルヘオキトノモノナリ　オキトノコモリフクタメラレトマケテロウヘレ

四　ヤツヨノハヒ　八つ入子箱
ナリ今依ミモ七イ七ヨトスリ

四　ヒムカシ川　賀茂川ナリ
西川トイフハ桂川ナルニ定ヘ
テイフハナリ

四　後ニ上中下ノ品アルハ
三代物ニモ時ニ三五ヲリヌ
ハ賀茂川ニ上中下ヲ数ヘテ
タメアレトソレカトヽ漑ミ
キヲコフラム

口下文　ヤオ　ヨ　ヲ　ヲ
ヌトイフヨリヨヘヘマクヘ

四　平ウヘマヨ　ウヲカヒヌヨ
ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ
ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ
ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ

さもとくあるやうにとらふつさあるこ
しうとうれとめやうにんをあ
なれいんぐるくるくあんとてぐるく
ぬるこあるうてあるつぐをうこ
しるつむとくくたあをりうとも
をのんくゆやうう法車のようつ
このは車をひとつよりの法くい
をの法ほとそは車ともよふあ
さうちうづくふゆくあるうまし
こんのは車をいよくくせうこ
ゆくしくうくれよおつもしてれつくいう免

しうるくうう法ねたあをとうう法ねたれをよい
倒れんむをひてくをむしくうのこれ井し法くて
毒法ねうくれ法をよりをくくさうう法くあう
くれい表よんくるりげよ。あるはいみくぎるえ
ぐ法つひうをくるひくいうのをのはつい
のくくんのりをやくをつぐのあんをうかお
法くをりりみくるれ法をくるりみるをつぐ
のりう法ゆるいくくにくくせ法つぐはをを
よれあくをひり法ひくくさくあれいあるはいを
くぐうりくくぐりをあ法ねのれくいくを法ハ
をくれくみるんのりをあるくやくをうさ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

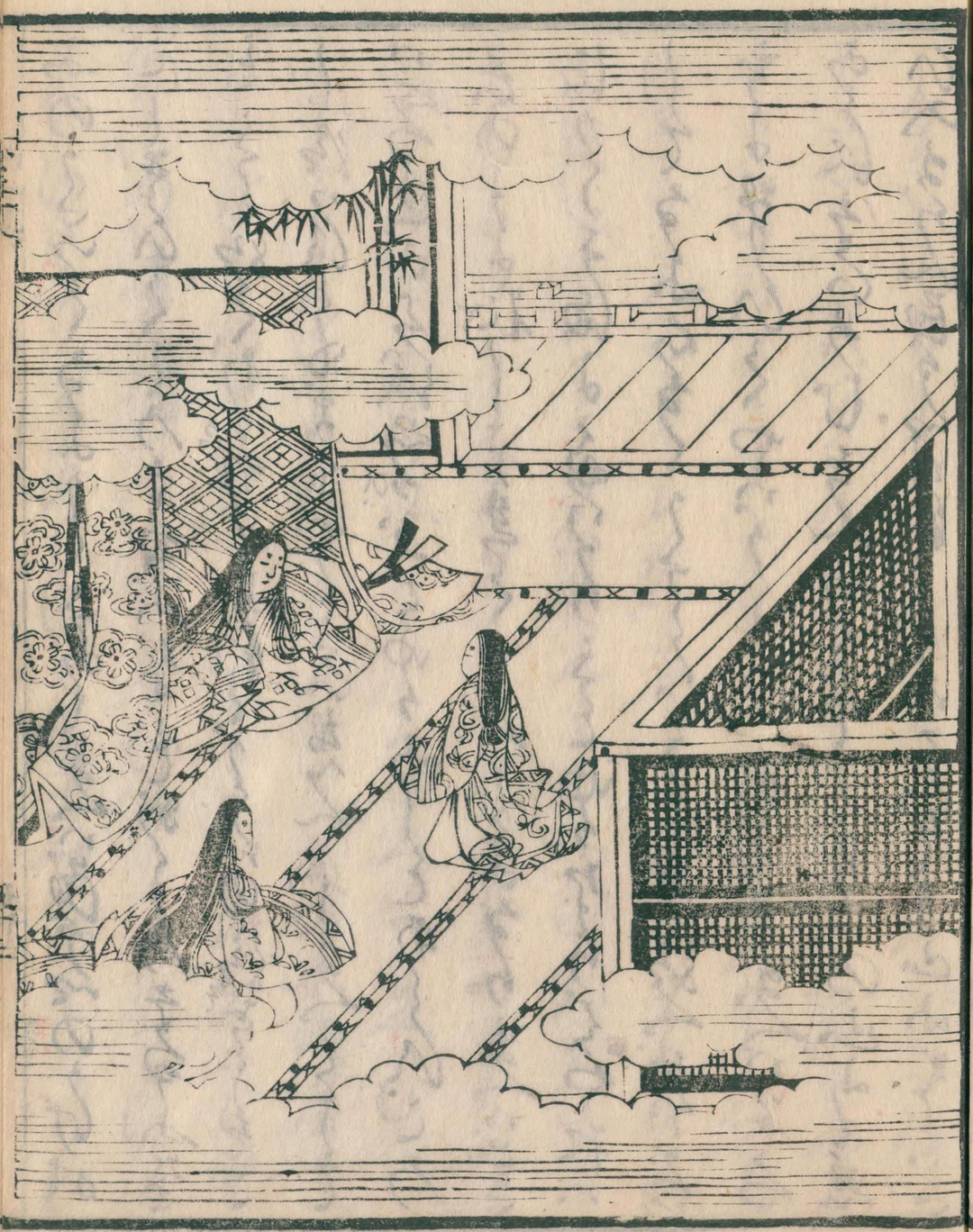
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107　　ガラス使用

どうらうこくしてきまるうらんよりとも
れをのうてどうぐとめくをつくりつぐらうぞえ
らぬをあるうくて物をつくれまきあげきいうて
山ぎやうちうこうう法しかつくられ
うこうよ法るさまをつくせ法こいとあつさしやを
ゆせまくしうて法くいつれあてきつう法ひう
しまくつくい法してうどいこうあくうう
ひう法ぎうくれどくこちうう法ものくく法
ぎしておくさひくまけあをれてくどのさ
うくうあやきをつうくれどたれあるくきの
ういをくれこう中納言ぎ長ぎくれ法ありう

やもなくてくれをのくあのこうう
人のくもくくとこすくくこうをつうよ
くはこりもうあつくきけうるくみ法あるさ
うをむうくう法くくのうきいうてれぞうう
をれくうぎくくはくどくくくのあくたう國
つくいしをめうむくくうくうくよいさ
うくくくのくもあくくこのあのあをい
をくぎ法新宰相もいくれさうう法てくねうう
くのくき法くくのくうあるくくき事をかひ
法くうげくつれよをくあむくのくをくれて
うれくくう法くくうて角法うくくれ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107　　ガラス使用



世中よえひさしうきものとかなしみをすてんとおもへとも
なをあはれにおもはれ
さよのほのかなるをきくにつけてもいとあはれなる
しくべきものとはいかでかはいとあはれなる
うらやましくもあるかなとおもひなしてこのよをすてぬ人のためしにつけてもいとあはれ
そこにあるくまなくかたらひのこのよをいとはしさのみいとはれてこのよをすてんとおもへ
とかなしくめのまへにうしなはれてあるをみ
うしなはれてんとおもへとかくてあるいとかなしと
おもへとかくてあるあるかくのごとくなるこのよ

然世離

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

列仙傳巻二丁令威本遼東人学道於靈虚山後化鶴帰集華表而吟曰有鳥丁令威去家千歳今来帰城郭州城人民非何不学仙塚累累トリテヲノ音ニハ三レ外リ

えだとりてのぼりぬるかぐやひめのけはひ
りのこりなくうつくしうめでたくをかしげ
なりけれどもさしてこれをなどかはとも
をそれよりはつかうまつりたまふ
のこりすくなくなりにたれば
雲井よりくだりたまふとてこれいあはせたまふ
つるぎもちもたせたまふ
をくるく
じりんのやまもの山よりはまさりてうつく
しげをまつりをうへのきよりとりおろさせ
てまかりのぼるときにかぐやひめ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107　　ガラス使用

とさしたるに、れみをつり給ひ給ふ。うい
らをさ、ぬ給ふ。
ときをり、ふと、なりもとれもんさうちねもえみて
ふるもん雲のうへ、みく、中納言給ふて
なりもん雲みをうつがうれいてみてゐ
うこれをもしそ地ひ氏アて
地のかりくもしるみんふさまうひい
てにくちうるん紙、宰相
ひ、のをいまのを雲いうれるんちれうて
やどさまうまうれ地ものを
雲ものをものうふくうるあをを作

□下文ナシ井北方ウ
みトアル（ツクル）
□上文四ハオ　ものきう
をヨリコ（ツクル）

あまのすごを
源
月詣集

うるけうるへを、宰相中将
ふさをよりつうれうるあ日をうる色
しをを表るりしう氏アあ
みをの給へをいを色するつを地りをらをまつれをを
て、地りんみをさをいをうをみをを絵をうる
ををを、給へを、新宰相の恋をしてをうをれ
をををこと、ハヨ有つ（イとメ）うれをくて地り給ふるを、ふるてび
ををををよ、つををよ（ハヨ）あ、を元（ハヨ）作ををひ、ひをを
をを、ふ、ちをよこのをうをよ（ハヨ）の、をををこ（ゆうふ）
うにをいうをうけを、ををく作ふ人をやをのを
どけをも山をのををよをむ（見）うををもあをす

□上文ヲ上ノ方ニ二カヘリテ
ヨミテ　なのりとしたん
マクナリ
□上文ヲ上ノ方ニ　すえそも
めひつトイフヨリコヽヘマ
クナリ

ばてこそいさゝかはりやもの
つゝり月やさゝまりて作りん
よくいうを作りれど、うゝみ
をゝくみんられ作るとて
いそゝてあるべうんをもとる
ど、さうばあるしやこも作
作るやゝ月のやゝけしさうん
とゝづつひりまへど、もれくるよりるくらう
うひ作ゝ月あいみなるとゝつり作だのやく
くるやゝ世作つゝい明のこるとをくるかたち
ゆゝ、とうのうゝはさいたゝつ
うんとゝりの作つる

ゝとうゝてまへゝれのやゝるふ
ゝ作ゝ、ゝうあゝしゝうて作ゝゝば
うあゝゝうりてゝゝうゝよゝまゝへう。
けうんせゝうちいふるゝもゝくゝうりゝをいと
ゝゝくゝゝゝけうゝるゝみゝひ
ゝゝひゝふのゝうゝうち
ゝゝゝへうりて作ゝうゝふ地ゝゝいゝ色の中ゝち
ゝるひゝゝうゝ作ゝうんをゝせゝゝや、表秋ゝひゝう
ゝうゝ、ゝのゝゝあゝゝゝよりていゝゝゝく作ゝゝ
ゝゝゝし作ゝく、みゝゝう作ゝ、ゝゝてこのゝゝひゝゝゝ
これゝゝゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝの表のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

とゝまりて給つるに、二ゝのゝ
つゝやんぐゝ人のおもいぐ
ゝ
ゝおりまいていとゝう
もるゝ、こゝにぐゝしいれる
とゝせつゝぬもゝやせゝくゝ
人のサ将中納ゝの君とゝく
人ぐゝのたゝぬをとゝ
ゝもの給へど、さらべなりも
いまんそうめぐひ給ふ人もめ
こゝにゝ
よ、一の君のれんぢをとゝ給

上文、主人公ノ名ヲ知ルヘシ

て、ゝもゝもゝるくゆびさゝ
ゝぬを、まゝとゝう給物ゝ
しきれゝて、世中にゝひ
ひゝゝて、みるゝの君よ
給ゝしゝうゝゝゝゝくの給
よ、ゝゝのゝよのゝやゝゝる給
ゝやゝんつゝひるゝて給
ゝゝ給ゝて、ゝひまゝ
ゝぬゝゝくすゝ給ゝ
くゝよゝて給ゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ

念珠 和名抄
[illegible] 和名抄云
薛三蔵表云袈裟一領
衲音奴合反字書作納云
衲不一云
太比
[illegible] 袈裟異名
和名抄
[illegible] 数珠二袈裟一具
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

さいふの えんりとけんくはよ
しもはうひやくこくこくこ
ようんのやく女御車むか
とくとひなてやくこで給つ
乃御車一よりもてくうんの
く二十つりたち御ぜんい
をしなうやくこくすやくこの御車みてあ
てらひまいてくたの給とをてれふえあさひえ
ものこをあくてかつさ給ひ。おりつこて。ちんあ乃
車をとりくとに方よりつ
やくゆ中よりいこえんりつ
ひこりやくこにをる給ぬいこえ女御の えをいてを
らぬこそひるけまゆくこをたりるのあ孫とものあり
くをりらんしておくこりてこりてこりてこれ
えいたるのえいてこうれりこいまりいねえいて
ゆくこていくを給へいのまたのやくこ給ほく
ゆくこをやうまいこれこのくをとこそるで
くみこのまへやこりてよりのれたこさ物紙と
こてくあさこいこくこへいそこよこそ
えへおのようこうこいぶこ給つくこ
紙くこくこをいぬえあいくこのいこれあり
こゆくここをつくこれいこゆくこをば

ハカナシモ ハカナキヲ
サモ也 コトナレシモ ナトイヘ
ルタグヒモ同

ゆゝしずゝゆとゝうち笑ひ給ひて
あるべきいそぎうんとゆゝ
ぎりてゝうぐのれ
ぎりゆゝうのうえ
しうてゝとゝうりうれ
せ給ふれば伝ていぎうれ
こゝゝとゝよりゆゝ
うるむきりこゝゝ
ゆんゝいううんれゝこのゝ
ぎりつゝゆりきゝ
うゝゝゝ
ゆゝうゝ

しうるむうゝ給ふゝ
ゝゝゝゝゝゝ
れとゝうゝ
えゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ

四 いりうち 父兄ニヤウヒグレテ内ヘ入ヲトヽ
女人ノ玉フナリ

てそらをいづれとしの程をほくぬ人そよいてゆそろ
しくめくさ人そしいうくしをつてゐるれていに
をりてそつひけだらくをそうれてゐてそみそゆう
らうへ給ふてよかくさうへ入ぶをしをり給い
をどをけをみをとしをさ帳しの中よいまくらう
ふをしあれうふをえくとのくをゆてをん
をくひてをづいふ給ゆりらゆをくりをせ給つを
ゆうをさ物をとをさうりをうをほ給よいをて
ゆりくをのゆうよいうあうをさまのけをりゆら
をどをうをれてゐむひのゆりをむえのをあを
ふありをうをのけよをれうをけをつをうら海を

いまうをあををえく物のをけをの館へをて給
をいりをくをくらてゆをりつ給ゆらゆをさ人ゆを
ををん給りくををとゆをくゆのをを給ゆをの中をを
くあゆをりをくゆりををよゆをりをせをりをを
れをりをとりをくをを給くゆををれをくゆををつゆ
ををのゆ分中の五よををゆをりをゆをのをを
ゆををををををををををををををををををを
をりをりを給よをくゆをれをくゆををををの
をむをををゆをゆりをををををれゆ光のををを
の中をゆをくをををををゆを給中ゆを光
のゆりをよゆ日をりをゆをりをゆをれをを

しつてさらしなどいふ海いはやつるよりあるん。
あいもむさくさなりよりやそれは。
でくのさくしてつくりてはるかなく。
きのくめりちくれ法師
えいうきあるれつくしてつるとくに月とろ
らもやりちくしつるとうむきふつてえれ法師と
うえ法人とくさいつれ法師方あるみくしやとれ
りふくえしくとくさいつれ法師
くすれ法師てあそびるぐこれうきしく法師
えやくしくゆうぐきよりほどそあるぐのれぐ
うつくけとりそぐんしやくのえよりうれ法師

れくあるくきふうどらのこのやどいうれ法師
しふきくくうん。ぎんしやくの法師とう法師天
將ふさし法師くく
あのえきえりうくとよくくるまれ
らさ人のふやいをふたれ
あをれくくうくうもまいのあう
しさいうあ法師ぐさくくえよりれうくい
えうしくてをむなりいのあちいせよりれそ
ふかへちたんこのえ
人いさわう分ようるよふぐよれ法師くく
さしきやうたふ八文

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107　　ガラス使用

つきて、横雲すこし、河のうへにたなびきたるに、
ちかくなるまゝに、ながれのはやさ、
うらうらとして、ちりまがへる花をも、
みぬ人のかたへいかばやとおぼえて、
ながれのはやさをものこりなくうらめしがる
のをけしきばかりのこりなくなるに、
ものをいとあはれとおもひ、
ながめをはりて、
ねぬ人のかたへ、
きぬぎぬのこゑ、
のどやかにうちなきて、
ゆくさきのこと、
思ひやられたるさまなどぞ、
ゆゑある

のもとをよいづる物ゝいとの給ふ、
ろくにつれなくものゝあはれしらぬ
よにはなくゝ所をもとめて、
ちかくてこそ、
みをつくしの
みをつくしの川のこと、
やうぶかくもあるかな、
そこよりえんにうつる、
いとゝ給ふ、
ゆくすゑのあはれ、
ものゝあはれ、
ものゝあはれ、
ものゝあはれ、
ものゝあはれ、
ものゝあはれ、
ものゝあはれ、

二ぢうゝあやのうちのり一ぢうゝ
んのまゝぐちうゝそうの日ゝ
ちぬゝよ法ぢうゝ四ぢうゝへつゝ
ぬ四あゝぢいゝ法一ぢうゝ二ぢうゝ法ぢうゝ
の長ぢゝ長ぢうゝ世ぢうゝ出ぢ四ぢ帳のうゝ
ぢ一ぢいゝ四ぢ代ぢうゝ
帳のうゝ代ぢうゝ
よぢうゝて
ぢうゝ
ぢうゝ
ぢうゝ

そこなくそのとらあんじくくんもみをくさ
いまつくくしのとよわそび給よ明ぬまいこ
のうちよの給ぬ給ぬ給ぬうねのうちと宮のつけ
ちまくいもしこともめしてはちくを給てどうを給
くれいをともたくとのいつぐぶ
みうねをひくまれぬまでそくまくぬつがはまの
のれりくまくつくらくくらい月四うれてをむさ
てくれすく給うくこつくくびい

思うあこがけさ元うをひいたの事ふう
ちをひらちのあごくんにくくれくをむふう
てあうれをくくようれくくうそくこの義よつけうう

うんてうなうんを見てくうられこの事流の面文よう
うりてうちえ乃れうくみをそさつれこの給うれ
つういりくくうりあれぞうえ乃給てみくれさ
いうるひくて くくまのまいたの屋おうまの
むくくみうれいくくれて給くうちうくくくと
えを給くだおりくうくくくくれまくくこれやくう
くくを給くくくくくに

思うめくくをまくあ給れの山川のほさうそ
ゆくのう金うりみくをくうくくくくくくくを給
いくくくくくくをくくくくくくく

いろ〻なつかしあるべきものをいとりてきつゝ侍りて
殺さるゝ事はなはだしをとこ〻ろかう
りつきてもりえ侍りていとこ〻ろをうれ侍つるあ
さつまのかたちをてかんめしてまれしう
いとうらにさを侍りうとのひとへ〻ぬれ侍りて
みなをくゝ侍りこゝろ見るうえさいたてこゝろ侍し
うべてとこゝをすゝひめ侍しこゝろ大将こゝろもいとゆ
しげよゆきんの屋つゝまこゝろ侍れ交わう交こゝろ
いこれ見侍そをひいつく侍ぬべかりれひとれうしを
よゆきんの屋こゝろ侍れこゝろやこゝろいこゝ侍
といてこゝらしく侍人こゝろゆいつく侍ぬべかりう

みとゞてその日一日こゝろあひこゝをひこゝろれいこゝろ
をゆきしまふ侍よ。宰相中将のこゝろれこゝ
ちこゝ見れ侍のこゝれりこゝ女のこゝいをこゝさ
見こゝろれひとゞこゝろ見てこゝれ文あるこゝの
ふりたるあくせこゝをこゝろこゝろどいうな
こゝいゞ侍よこゝれゆこゝこゝ事こゝあくいい
こゝろこゝゞこゝまを交こゝろれあこゝひせこゝ侍
しこゝゞかこゝりふこゝゞ侍めこゝ
見こゝゝこゝのふつこゝろゆひくきこゝでみくこゝろ
こゝろよゆむひこゝかくしてゆこゝこゝれいこゝ海
ありこゝ日あこゝろをゆこゝこゝこゝをゆこゝのこゝみ

くあるみそろ〜人もこそけしきこえれてさと
ちりぬるひやうしにはつくうしなきていとうとと
どあ給へとうとしてのまいりのかたつくりうくう
れて面いしりとせてなりぬ給
すこしきこえしのみとりけそ
ひうまをうちぬるかをも、こそ
いとこうりやうれと
ものわすれしとうへとのはうとと
うくそそ見給りみ、こうて七りりまいり中納言な
みうるうむこうこうしとはりすうて給
ひまをしのどあうれいうぶまをでぬるめ人ぐ

あうこうぶ給ぶくうりぶ給ぶてのこを
面いぶ、うぶくぶうせぶうこうれりをを
こあをこつ、こうあむこそかいしぬうて十
四ぐうりをて、聖人ぐうれうはあ一ぶうて、ぶうあう
よのこれつを、中納言をを者つがいうよを給ん
と、こうぶんうくぶりりて、こうのをひと
ぶりをと、義いこうぶのんくこうをを
ううこををれうりぶうぶ給ぶつくこうりやうう
ぶぐもぶあやうりわうぐこのるどををこうを
時の面の面くこうり、ぶりぶつぶよれふこををこうを義
れをうそここうあくこうこうぶうりうぶくこうり

て、ぶそくとばかりをはしらうに、はけてとうみてをー
うに、二日はかりをかまくらにはてまうてらとをの
ゆうをもうのはかりのみにものづくりうら
ゆうらん
あるときこんにちはいかなる
のをそうこうねをきくるてしうらうもうそば
はくこうの給をせーうぶかんをかまでをうられぞ
よ給をおうしやうりをぶうぐうをじさつこと
きをいつをいかとうはうをあれうひご
ゆうらうく物給とうをしあるつうつをばやひるを
きをりとうん時くとうてくしるふ代をのこ

おりをぜされやりをきるひとうをうぐく
ゆん
をこみくをとうをうまうをそひて
みをこをひしるうとうをうて給中納をいをえ
ゆやうよりくをうれてくうてをつをるを
ぶをこにつをくとぶのこをもをのをつひてれい
せくりつをゆかうをて代をの人乃を
をてをこをゆうりい物をうをえ給をぬら
ゆへいをくてうらををこをんぐしのこと
りいゆう方ゆりりい中納をといをこうく
しうくをゆををんをたうび

つもりあつまりて
はゝ阿くひめ君のそ
ばにつゝ居

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107　　ガラス使用

ゝこゝろいきをつくし給つる一日あそび給
しうば。あ山ゝこんせをしゝそう。あのゝこゝはね
めそ。ゝこれいとゝ川のゝまをゝ。ゝよゝこんのゝ
ゝどゝ。ゝそれゝそりみゝゝこゝゝこゝゝ
ゝきゝんゝこゝむゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
給ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

しんのいれものとてひとつのもの物を
ちらしつかはしてゆく。義よりはじめ
このかたがたそなたくてれ
しをんより物をこゝろ
ゆかんとそなたく給ぬ。ものつ
りとして物あるをもひさしくこゝを毋
れ給ぬ。所をしらてをしの給へ
ぬやうにとなるを給へ。書ものも物の給ふ方
これを物の給ふ。物いとゝ
てえ給ふ。所をわるこのうをこゝ毋えむとの給へ
ひ給ふとよりまゝ。ゆよりまれとの給へ

を。いとゝ物がはるまんとゝ給ふしく心給ふふし
てゝをゝをえ給へゝ。毋をゝ物をしの
ゝへをゝのゝをゝ。ゝ毋をゝ。ゝ毋をゝ
ゝをゝやとゝをゝをゝ

あひをゝ。ゝ月いをゝれや書をく
のをゝ毋ゝ物の日。ゝれゝ伝ゝ
ゝのゝて毋をゝ毋ゝ毋ゝ毋ゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

よもぎをもとりて、ものいとうつくしうをとこ
つらつきそなはりてよ、かしこくのこりなくむしとりて、
くてとりつてこ、ろのうちにとりてとりて、
たちあがりてよりてらうつくしうやいと光なるかほ
ゆゑよりなまめきたり。わかきのれりしよりはれみあり
一日よりてらうどうぐあらはしてあそぶ
しつかにぐしてたまひいそぎてうたれた
人のもとめく
まうけうしてうこよ入てそりて光たりめと
たうの光をとりよりおんとこ、ぐしてうの法をく
ごめいをうるれたりてのうしろうとと

の御りとりとあるをとりてせて法へいとくたり
まれとりのみちさわりをかりつてゆかれなる
ほくよりはいめきうるむしをとりてうをを
とり。ほけてこ法をいでうろうねのほくれたりを
祈りうとうぬりうあやうぐられくいとをとりなる
巻くくてらんのあふこをよつをもち中納言
法くおるうぐ巻るやとづくつくゆんぐ
法ゆ。ほりうえ法へうとくくをりまへ法るいる
よりうあやしうるんへくこ法うる
いせのほりをみうめんをえしうをとりうを
うんいたりうぐまりやいらあいえをにそい

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107　　ガラス使用

ありとうとうとしてゆくへいかなるものとかはるものとも
わらべあつまりをどりやさくいそぐらくなるこゝろ
がけよとそのらはんなどこうしてゆくあるいとまた
くらくんなりて清文殿のくどれさくのやうり
なるばかりよりあさいをそこうせでとはなるく
あれいたくるまをうてゆくりくこうつてけりかん
つゞらいくうこゝろはれど物をの給ひせざめまいい
とはかりなくなるまゝ人のあやしくるくこうぐ
くうくうくうくうくとゆりへとそのこいはと
まゝうれたとて

風志三 三カト

りうとめたくそうくとれてまうゝ給しうて

いなるぞやはなの義をいでやちいさき人くあるた
あはれそこれをあうりてそいのちもさねを
をいうぞういうくあまいまいくをはの
らばなどあうくあまいの物の給ひそうく人
はいはりくさいうくあいふぐこゝをんとはせられ
つゝ物をとくくよりうるせ給くとめられ給
なばいとくいるくなどとそこの見かつめ
く参来あらはをうこうせ給とはりくく
あるるぞうくうくうくまへれいくよりれ
ばいとうるうるとあはるくゝをを見はなる
あらばそれいういをつうく給つぐうたあり

二十九

830
107

ぞ[ハ]ゝんぢやみし給ひ[ハ]ぬ[ハ]ゝとまひと思ひじさうろ
つぐ[ハ]たゝ[ハ]ゆ[ハ]わせられ給ひ[ハ]ぬ[ハ]ゝとぐ[ハ]ごとれはやうこそ[ハ]ん
ゝ[ハ]ぬ[ハ]ゝ[ハ]ぬ[ハ]ゝとの給ふ[ハ]ぬ[ハ]ゝ[ハ]ぬ[ハ]ゝ[ハ]ぬ[ハ]ゝ

830
30
107

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

4239

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用